

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和6年5月17日(金) NO5 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

ルールとマナー

ルールとマナーは似た言葉ですが、何が違うと思いますか。どちらもよく耳にしますが「ルール」は『守らなければならない決まりや規則』を意味していて、このルールを破ったり、ないがしろにしたりすると、罰を与えられたり、罰金を払ったりすることとなります。それに対して「マナー」は、『集団が生活する上で気配りが求められる節度や礼儀』というくくりになり、特にペナルティはありません。しかし、どちらも私たちが生活する上でとても重要な意味を持つ言葉です。ルールは警察や役所など社会的に監視されている部分がありますが、マナーは守る義務がないからこそ、そこに人間性が出るのだと思います。マナーが悪いことは質の低さを物語ることとなります。ルールでもありマナーとも関係することですが、学校では自転車への苦情が後を絶ちません。「中学生は右も左も分からないのか」「道路いっぱい広がってわがまますぎる」「注意をしたらにらみ返された」といった電話がかかってきます。これらを改善すべく集会もしたし、放送もした。しかし、なかなか苦情が減りません。地域の方からすれば、「本当に困った中学生」と認識されているかもしれず残念です。生徒総会で交通マナーについても議論がされるようです。大人がどんなに語って聞かせても、生徒の内面から沸々と湧き出るのがないと化学反応は起きないと思います。生徒の力で、「ルールを守りマナーを育む」パワーが生まれるといいのですが。

学年集会のもつチカラ

新年度になり各学年が学年集会を計画しました。それぞれ見に行くのですが、どの学年も学年生徒会や学級の様子を紹介します。ちなみにどの学年も生徒主導で行われていますので、引っ掛かりもありますが、手作り感があって生徒が育っている感じが伝わります。先日は1年生の集会があったのですが、学年スローガンが発表されました。「黄金伝説」です。何とカッコいい！ちなみに生徒が考えたとのこと。新年度が始まり1か月半経ちます。徐々に学級にも慣れて順調に進んでいると思いますが、慣れたからこそチョコチョコ人間関係のトラブルも目立ちます。人をダメにするコトバを乱発して居心地の悪い学年を作るのか、いやいや、サツキ言葉にあふれ互いを思いやり助け合う心優しい学年にするか。どちらに進むか？それは皆さん次第です。